

麦類赤かび病の防除を適期に行いましょう！

[現在の状況]

- ① 4月上旬現在、農業研究所及び病害虫防除所の調査圃場における麦類の予測出穂期は、大麦では4月上旬～下旬、小麦では4月中旬～下旬である（表1～3）。
- ② 予測出穂期から算出した予測防除適期を表1～3に示した。なお、4月9日気象庁発表の気象予報によると、向こう1か月の気温はほぼ平年並と予想されている。

※表1～3に記載した予測値は、4月10日現在の計算値であり、今後の気象条件によって変動する可能性があるので注意する。

表1 六条大麦の予測出穂期と赤かび病の防除適期（平成27年4月10日現在）

品種	地域	調査地点	播種期	予測出穂期 ¹⁾	予測防除適期 ²⁾
カシマゴール	県央	水戸市上国井町	11/ 4	4/12*	4/15
		水戸市小林町	11/10	4/10*	4/13
		那珂市飯田	11/12	4/23	4/26
	県南	龍ヶ崎市大徳町	11/10	4/ 8*	4/11
		河内町源清田	11/ 5	4/ 9	4/12
	県西	常総市三坂町	11/ 6	4/ 7	4/10
		筑西市小栗	11/20	4/22	4/25
カシマムギ	県央	水戸市上国井町	11/ 4	4/17*	4/20
	県南	龍ヶ崎市大徳町	11/10	4/ 9*	4/12
	県西	桜川市真壁町亀熊	11/21	4/16	4/19
		八千代町高崎	12/15	4/26	4/29

- 1) 農業研究所ホームページに掲載されている「麦類主要品種の主稈長による茎立ち期、幼穂長による出穂期予測法」の計算式を用いて予測した。なお、予測の際、平均気温は、幼穂長調査日（4月1日、2日）から各調査地点付近のアメダス観測所の実測値および平年値を利用した。ただし、*は農研速報（3月31日発行）に記載の幼穂長データ（11月4日播種の調査日は3月23日、11月10日播種の調査日は3月30日）を用いて予測した。
- 2) 予測防除適期は、出穂期の3日後とした。

表2 二条大麦（ミカモゴールデン）の予測出穂期と赤かび病の防除適期（平成27年4月10日現在）

地域	調査地点	播種期	予測出穂期 ¹⁾	予測防除適期 ²⁾
県南	龍ヶ崎市大徳町	11/10	4/ 8*	4/20 ~ 4/22
	稲敷市佐原組新田	11/10	4/ 9	4/21 ~ 4/23
	筑西市玉戸	11/28	4/12	4/24 ~ 4/26
県西	筑西市小栗	11/16	4/15	4/27 ~ 4/29
	筑西市久地楽	11/18	4/17	4/29 ~ 5/ 1

- 1) 予測出穂期は、表1と同様に予測した。ただし、*は農研速報（3月31日発行）に記載の幼穂長データ（調査日3月30日）を用いて予測した。
- 2) 予測防除適期は、出穂期の12～14日後とした。

表3 小麦（さとのそら）の予測出穂期と赤かび病の防除適期（平成27年4月10日現在）

地域	調査地点	播種期	予測出穂期 ¹⁾	予測防除適期 ²⁾
県央	水戸市上国井町	11/ 4	4/22*	4/29 ~ 5/ 2
		11/20	4/29*	5/ 6 ~ 5/ 9
県南	つくば市大形	11/ 5	4/16	4/23 ~ 4/26
	つくば市上菅間	11/21	4/26	5/ 3 ~ 5/ 6
	龍ヶ崎市大徳町	11/10	4/19*	4/26 ~ 4/29
		11/20	4/22*	4/29 ~ 5/ 2
	つくばみらい市市野深	11/ 8	4/20	4/27 ~ 4/30
県西	結城市結城	11/20	4/24	5/ 1 ~ 5/ 4
	常総市三坂町	11/ 7	4/21	4/28 ~ 5/ 1
	筑西市野殿	12/ 8	4/25	5/ 2 ~ 5/ 5
	桜川市加茂部	11/18	4/28	5/ 5 ~ 5/ 8
	桜川市原方	12/ 4	4/30	5/ 7 ~ 5/10
	八千代町高崎	11/20	4/22	4/29 ~ 5/ 2

- 1) 予測出穂期は、表1と同様に予測した。ただし、*は農研速報（3月31日発行）に記載の幼穂長データ（11月4日播種の調査日は3月23日、11月10日播種の調査日は3月30日）を用いて予測した。
 2) 予測防除適期は、出穂期の7~10日後とした。

[防除対策]

- 防除適期は、六条大麦では開花を確認した時（出穂期3日後頃）、二条大麦では穂から葯が出ていることを確認した時（出穂期12~14日後頃）、小麦では開花始期~開花期（出穂期7~10日後頃）である（図）。予測される出穂期および防除適期は麦種や播種期によって異なるため、圃場毎に出穂状況を確認して適期防除を実施する。
- 赤かび病菌の子のう胞子の飛散好適条件は、「日最低気温 10℃以上、日最高気温 15℃以上の条件を満たし、湿度 80%以上の日か降雨日とその翌日」である。飛散好適条件が続く場合は、1回目の薬剤散布7~10日後に2回目の散布を行う。
- 薬剤を選定する際は、平成27年3月25日発表の病虫害発生予報4月号を参考にする。
 (<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/byobo/bojo/yosatsujoho/documents/yh2704.pdf>)

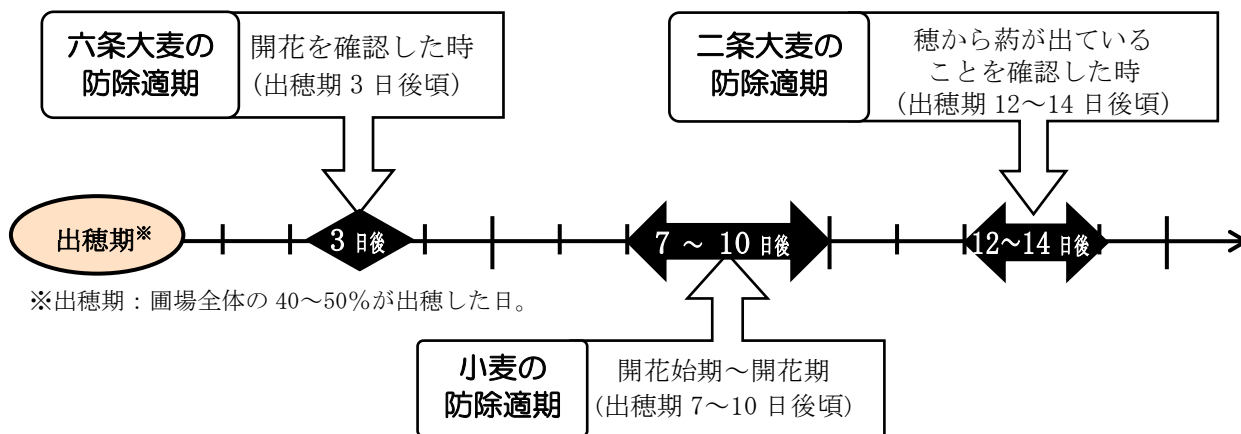


図 麦類赤かび病の防除適期